

新たな歴史が明らかに!! 牟田辺前方後円墳発掘調査速報展

8/1[Thu]~9/1[Sun]



▲調査が行われた前方後円墳の概要と
獅噛（獣面）文帯金具

牟田辺遺跡発掘調査の速報展を多久市郷土資料館で開催し、期間中は多くの歴史ファンが訪れました。同展では、全長約19メートルの前方後円墳から発掘された金銅製品や青銅製品や鉄製品、石製品などの貴重な遺物を展示。中でも、獅子（獣）の顔が描かれた獅噛（獣面）文帯金具が一式見つかったのは国内初めてのことで、その製作方法や入手経路など不明な点が多く、今後の解明が期待されています。

藤井伸幸館長は「古墳が作られたのは5世紀後葉から6世紀前葉の頃で、一帯を治めていた有力者の墓だと考えられます。今回は多久での歴史的な発見を見ていただける良い機会になりました」と話しました。

子どもお化けと怪談に肝を冷やしました 学校の怪談 お化け屋敷

8/31[Sat]・9/1[Sun]

夏休み最後の土日に「学校の怪談お化け屋敷」（主催：さが昔話の会）が、南多久町の南溪分校で開催され、2日間で延べ200人が訪れました。

南溪分校は映画「がばいばあちゃん」のロケ地としても活用された、昔ながらの木造校舎。趣のある場所を活かし、2日間限定のお化け屋敷となりました。お化け屋敷では薄暗い中、お化けの衣装を身にまとったボランティアの子どもたちが来場者を驚かせ、スペシャルゲストの怪談師牛抱せん夏先生、学校怪談作者常光徹先生の怪談トークイベントでは肝を冷やしていました。

訪れた人は「暗い学校という雰囲気もあってとても怖かったけど、楽しかった。」と話しました。



▲お化けメイクをして、訪れた人を驚かせる子どもたち

笑顔はじける! いきいき百歳体操全体交流会



YouTube で動画が見えます!



9/3[Tue]



▲参加者全員で行った「いきいき百歳体操」

現在、市内20地区で行われている「いきいき百歳体操」の全体交流会を、天山多久温泉TAQUAのホールで開催し、16地区から200人が参加しました。理学療法士の小柳伸一郎さんの講演と、6か月以上体操を続けている85歳以上の23人を表彰し、全員で百歳体操を行いました。

参加者最高齢で94歳の秋永キクエさんは「たくさんの人と話せて楽しかったです。体はまだまだ元気で、足もすんなり動くし、膝も痛くありません。体操を続けてきたからこそだと思います」と笑顔で話しました。

体操の後は、減塩食品や減塩調味料を使用し、通常の40%減塩ができた「やさしい弁当」を食べ、にぎやかな集いの場を楽しみました。